

一般社団法人 日本移植会議

～移植医療を待つ患者を守り、提供者家族への感謝と顕彰のために行動する会～



日本の医療が世界の先進国と肩を並べる高い水準にあると日本人は信じています。
しかし、先進国をはじめ新興国の国々にも遅れている医療があります。
それは臓器と組織の移植医療です。

移植医療とは心臓・肺・肝臓・膵臓・腎臓・角膜・皮膚などが機能しなくなった時、
臓器や組織の提供を受け、再び生命と健康を与えられる医療です。
ローマ法王は臓器・組織の提供は「愛の行為」として声明し、
仏教でも「慈愛に基づいた布施業」としてされています。
日本は「他に与える」ことを不得手とする国ではないはずで

移植医療の数が少ないこの日本に生まれたがために、
生きてゆけない患者さんが年々増加しています。
外国に渡航移植することについては、
その国の患者さんの権利を奪うという批判があり、
WHO（世界保健機関）からも厳しく批判され、国の患者さんは自国で移植するよう、
また自国の臓器提供を増やすよう勧告されています。
これまで多くの分野の方々の努力がありましたが、もうこれには限界があることは明らかです。
倫理とは社会の人々の生存・健康・幸福を高めるための規範を指します。
私達はこの日本移植会議を通して日本の新しい文化を作りたいと思っています。

一般社団法人日本移植会議 代表理事 小柳 仁

公開シンポジウムのご案内

2023年 9月30日（土）13:30開会（16:30終了）

当日、直接会場にお越しください。参加費は無料です。
移植を受け、元気になった子供達の絵を展示します。

聖路加国際大学 本館1階
アリス・C・セントジョン
メモリアルホール
東京都中央区明石町10-1

日比谷線 築地駅3分
有楽町線 新富町駅5分



公開シンポジウム プログラム

総合司会 渡邊あゆみ NHK財団アナウンサー

ドナー顕彰碑へ黙祷

13:30~13:35

開会挨拶 小柳 仁 日本移植会議代表理事

13:35~13:40

議長挨拶 松本吉郎 日本移植会議議長（日本医師会会長）

13:40~13:45

開会に寄せて

13:45~14:05

- ①伊吹文明 日本移植会議特別顧問（元衆議院議長）
- ②加藤勝信 厚生労働大臣
- ③門田守人 日本医学会会長（日本臓器移植ネットワーク理事長）
- ④澤 芳樹 第32回日本医学会総会2027大阪会頭
- ⑤宮崎秀樹 元参議院協会会長（元日本医師会副会長）

救える命を救うために

I. 移植を待つ方、移植を受けた方から

14:10~14:50

司会 吉田俊子 聖路加国際大学看護学部長
布田伸一 東京女子医科大学教授

- | | |
|------------------|---------------------|
| ①移植待機患者様 50歳代男性 | 「綱渡りの5年」 |
| ②移植待機患者様 10歳未満女兒 | 「わが子の移植後の人生を夢みて」 |
| ③小林未央 様 | 「心移植後30年を経て新たに思うこと」 |

休憩

14:50~15:00

II. ドナー家族の立場から

15:00~15:40

司会 横田裕行 日本救急医療財団理事長
吉川美喜子 厚生労働省移植医療対策推進室 室長補佐

- | | |
|----------------------------|----------------------------|
| ①米山 順子 様（ドナー家族会「くすのきの会」代表） | 「臓器提供に至るまで、その後の思い」 |
| ②森本 隆・陽子 様（ドナーご家族） | 「ドナーファミリーとして伝えたいこと」 |
| ③三浦 拓 様（ドナーご家族） | 「できる限りいのちを守り、いのちを繋いでいくために」 |

III. 提供の現場から

15:40~16:20

司会 島崎修次 日本救急医療財団前理事長
木戸英晶 前(株)アサツーディ・ケイ取締役会議長

「ドナー・家族の意思を尊重し、実現するために」

- ①横田裕行 日本救急医療財団理事長
- ②渥美生弘 聖隷浜松病院救命救急センター長
- ③中尾篤典 岡山大学救命救急科長、高度救命救急センター長

閉会の挨拶に代えて 寺岡 慧 日本移植学会元理事長

16:20~16:30

主催：一般社団法人 日本移植会議

後援（予定）：厚生労働省 日本医師会 日本臓器移植ネットワーク 日本循環器学会 日本心臓財団